

2010年11月1日

お客様各位

株式会社シノテスト  
安全管理責任者 堀川 信之

## がん化学療法用尿酸分解酵素製剤使用患者における 血中尿酸値測定についての注意事項

謹啓 平素はご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、2010年4月より販売されております 下記製剤をご使用されている患者の血中尿酸値測定に際し、注意事項がありますのでご報告させていただきます。

本剤は遺伝子組み換え型尿酸オキシダーゼであり、尿酸を水溶性の高いアラントインに換え、過剰となった血中の尿酸を排泄しやすくします。

ただし、採血後、もしくは血液遠心分離後においても、血清、血漿中で保存温度により多少の差は見受けられますが時間経過とともに尿酸はこの薬剤で分解されますので、採血後時間のたった検体では尿酸値がみかけ上低値となります。

尿酸そのものが検体中において分解されますので、測定試薬の反応原理、メーカーに関係なく、尿酸値は低くなりますので、当該薬剤をご使用中の患者の血中尿酸値を測定する際は十分にご注意いただき、採血後直ちに測定することをお勧めいたします。

本薬剤投与患者における臨床上に関連するご質問については該当の製薬メーカーにお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

製薬メーカー : サノフィ・アベンティス株式会社

製剤名 : がん化学療法用尿酸分解酵素製剤「ラスリテック点滴静注用」

参考資料 : 別紙

[本件に関する問い合わせ先]

株式会社 シノテスト 企画部 サービスチーム

電話番号 0120-66-1141 (フリーダイヤル)

以上

## 参考資料

サノフィ・アベンティス株式会社

「ラスリテック点滴静注用」添付文書より抜粋

### 7. 臨床検査値の及ぼす影響

採取した血液検体を室温に放置することにより、本剤が尿酸を分解し、見かけ上の尿酸値が低くなる。正確な測定を行うためには、血液検体をあらかじめ冷却した試験管に入れ、氷浴等で速やかに低温状態にした上で保存し、採血後4時間以内に測定すること。

日薬理誌 136. 255-260(2010)

新薬紹介総説

がん化学療法用尿酸分解酵素製剤ラスブリカーゼ（ラスリテック 点滴静注用）

尿酸の毒性について抜粋

尿酸は通常、腎臓から排泄されるが、多量に産生された尿酸を十分に排泄することができず、腎で析出することがあるため、がん化学療法により高尿酸血症に至った患者では腎機能障害や急性腎不全が発現し、致命的な経過をたどることがある。このため、化学療法後の高尿酸血症を予防することが重要であるとされている。

以上